

教員各位

国立大学法人奈良教育大学長
加藤 久雄

5月7日以降における授業・ゼミ等の実施について（第5報）

6月15日（月）～7月28日（火）までを、「レベル1への移行期間」としているところですが、6月29日（月）以降の授業・ゼミ等について、以下のようにいたします。引き続き、非対面による実施を原則としますが、対面による実施については留意事項を厳守の上で対応をお願いします。

なお、今後の状況により、さらに変更する場合があります。

記

1. 対面による実施を認めるもの

- ① 非対面ではどうしても実施できない内容（例：大学の実験器具を用いた実験、季節性に関わる調査・実験など）の授業・ゼミ。（現行の審査制から申出制とする）
- ② 卒業論文・修士論文・学位研究報告書の指導。（現行通り申出制とする）
- ③ **どうしても非対面ではむずかしい場合で**、使用教室、受講者数、授業方法において、通常時から変更しなくても3密等が回避でき、教員の管理・責任のもとで実施する授業・ゼミ。（申出制とする）

（3密回避の目安として、講義棟教室の場合、収容定員の50%以下とします。講義棟教室の収容定員と時間割ごとの教室使用状況は別表1をご確認ください。原則として、当初からのコマの移動はできません。なお、101教室及び102教室については、期間中、学生待機室として設定しますので、当初に当該教室使用予定科目を対面授業により実施する場合は、教務課へご相談ください。また、他の科目についても教室変更ご希望の際は、教務課へご相談ください。）

2. 対面による授業・ゼミ等実施申請書の提出

- ①③について：別紙「対面による授業・ゼミ等実施申請書」を、実施10日前までに教務課（kyoumu@nara-edu.ac.jp）へ提出してください。
- ②について：別紙「対面による卒業論文等指導実施申請書」を、実施10日前までに教務課（kyoumu@nara-edu.ac.jp）へ提出してください。

3. 対面による実施に際しての留意事項

- （1）引き続き、原則、非対面で行っていただくことをご理解の上、どうしても対面で実施しなければならない場合のみお申し出ください。
- （2）実施においては、事前に学生と連絡を取り、帰省や通学に不安を抱える学生を無理に通学させることがないようにしてください。通学の難しい学生に対しては、不利益のないように配慮いただきますようお願いいたします。
- （3）当該授業の前後に非対面授業が入っている学生がいます。学内で非対面授業が受けられるよう、PC等を所有していない学生には予約制によるパソコンルーム等を用意しますが、座席数に限りがあります。
<https://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/SOUMU/corona2020/hitaimen.shisyou0527.pdf>
また、各自が所有するPC等を用いて受講するための待機室を用意します。学生にはその旨通知しますが、対面授業の開講によって、他の非対面授業が受けられなくなるよう、事前に学生と連絡を取り、実施を決定してください。

- （4）別紙「レベル1への移行期間における対面授業実施に係る留意事項について（6月15日改訂版）」の記載事項を厳守してください。

別表 1

令和2年度教室使状況(前期)

50%超

101.102使用不可

R2.6.10

教室名	スクリーン位置	アンプ有無	収容人数	試験時人数	月12	月34	月56	月78	月910	火12	火34	火56	火78	火910	水12	水34	木12	木34	木56	木78	木910	金12	金34	金56	金78	金910
101	左	○	121	60			中西	石井俊		箕作				藤井信川、和田		辻井			巽善信	根田今	前田広		田島昭洋	近藤	高橋亮	
102	右	○	162	81	森口	石井僚	赤沢			劉・他	松本	板橋	板橋		出口	森本・他(理科)			赤沢					舟橋	有馬	
103	中央	○	30	30							(院)森篤嗣		立松	立松					杉山	杉山		門田			松本	
104	左	○	63	63	根田	舟橋	谷口			浅野詠子		森篤嗣		赤沢西村拓生	石田・他(理科)		アムンﾄ	アムンﾄ	吉兼奈津子	吉兼奈津子	出口	板橋	井上直樹	朱鵬	朱鵬	
105	左	○	63	63	アムンﾄ	アムンﾄ		横山棚橋、米田	アムンﾄ		荻野裕子	石井俊	アムンﾄ				山本修	山本修	吉村公宏	吉村公宏	石田		北澤太野	丹原邦博	丹原邦博	アムンﾄ
201	中央	○	70	70	藤岡住恵	藤岡住恵	森口		釣井達也		米田				佐藤	今	竹澤由記子	竹澤由記子	太田	辻井	エデソル・ドミニク・ガイ	奥田	岩村和泉	岩村和泉	片岡弘	梶尾
202	なし	×	20	20		和泉元						片岡弘							橋本日高				片岡弘			
203	右	×	55	55	福光佐今	伊藤剛奥田	和泉元	(院)和泉元											梶原		生田					
204	右	×	55	55	豊田宗			(院)伊藤直・他			大山	金原														
205	右	×	55	55	北山						渡邊伸								箕作			常田・藤井			梶尾	
206	中央	○	70	70	門田	門田	横山		谷山正道		棚橋		西田				徳永和博	徳永和博	門田	永井隆則	永井隆則	有馬	荊明月	荊明月	橋本	
207	中央	○	24	24			(院)ピーター・ファーガソン		杉山		藪	越野	辻野村松	米倉	樋田		頓宮		村上		(院)村松	頓宮	藤本雅文	頓宮		
208	左	○	55	55			近藤	若林隆泰	米田	笠次	湯通堂誠	頓宮	山中		板橋	和泉元			伊藤直			後藤	伊藤直	猿渡留理	猿渡留理	
209	左	×	55	55	谷川	立																竹内	和泉元		森本	
302	中央	○	24	24	藪		村上	高木祐				常田	根来				常田・他(理科)		越野			富井			中村	
303	左	○	55	55	米倉	米倉	マーティン・バーンソズ		高橋豪	梶原	松井淳	岩本華	岩本華		山崎	樋田	佐藤	荻野裕子	常田			高橋豪	西田	宮尾	高木祐	
304A	中央	×	16	16	今		今			山崎					(院)立松							(院)山崎祥				
304B	中央	×	16	16					村上		(院)梶原		有馬													
305A	中央	×	16	16							(院)小山俊輔		大西賢									山岸				
305B	中央	×	16	16			奥田																			
306	右	○	70	70	マーティン・バーンソズ	マーティン・バーンソズ			川崎		松山・他	横山		伊藤直		有馬			川崎田山育男	米田	高木祥	舟橋・他	高橋亮	石井俊辻野	宇田	高橋亮
307	中央	○	24	24		越野		川崎		水野恵司	廣瀬		前田広	廣瀬	今	棚瀬知明				日高				(院)宇田	高木祥	
308	左	○	123	123	太田	中山		ピーター・ファーガソン	ピーター・ファーガソン			米田	太田	立	堀				柿本	森	笠次	廣瀬・他			森	
210			40	40	アムンﾄ	アムンﾄ			アムンﾄ			門田	アムンﾄ			佐藤				米倉				門田	門田	
211	なし	×	20	20																高木祥				(院)伊藤直	(院)頓宮	
310	右	○	154	98			柿本	玉村公二彦		生田	生田・他	後藤	後藤		辻野・他		大西賢	樋田				中山・他		田島昭洋	田島昭洋	橋本
大講義室	中央	○	254	120		有馬・他(国語)		森本		森本・太田石井俊	高橋豪						堀	山中		根田、今、森			奥田喜	谷口尚之		
次セ2多			108							中澤大西浩	中澤大西浩	富井	西川秀智	中澤大西浩		市来	橋崎				中澤大西浩	梶尾今		加藤慎一	根来	
次セ2会			24				赤沢																			
次セ2毛			24																							
情報館演A			32				吉田幸代				(院)前田広				多田知正					常田	常田	藪			新田恭子	新田恭子
情報館演B			20				松本					石井僚				伊藤剛						村上				
情報館実			82			伊藤剛奥田					河本	伊藤剛	伊藤剛	伊藤剛									古田	古田	伊藤直古田	
次セ1会			30													山岸									阪村圭英子	

令和 年 月 日

対面による授業・ゼミ等実施申請書

(①非対面ではどうしても実施できない内容の授業・ゼミ)

(③どうしても非対面ではむずかしい場合で、3密等が回避できる授業・ゼミ)

所 属				氏 名		
実施科目名、 ゼミ名、 卒論修論等 研究指導、等		時間割 番号		前期 後期	曜日 時限／集中	

日 時	・ 毎週の場合 曜日 時限 (令和2年 月 日～ 年 月 日)					
	・ 上記以外 令和2年 月 日～ 年 月 日 時 分 から 時 分 まで (時間)					
実施場所				受講者数	名	
申請に当たっての 自己チェック項目	☐ 対面授業の開講によって、他の非対面授業が受けられなくなるよう、事前に 学生と連絡を取りました。					

実施 形態	(実験、テーブルを囲んだゼミ、実習園における作業、等、実施形態を記載してください)
対 面 で の 実 施 が 必 要 な 理 由	
備 考	(コロナウイルス感染症拡大防止・感染リスク軽減のための対策等、特に留意すべき点があれば記載してください。)

令和 年 月 日

対面による卒業論文等指導実施申請書

(②卒業論文・修士論文・学位研究報告書の指導)

所 属		氏 名	
実施場所		学生数	名
日 程	令和2年 月 日～ 年 月 日 毎週 曜日 定 期 時 分 から 時 分 まで (時間)		
	不定期の場合、実施予定日・時間を適宜記載してください。		
申請に当たっての 自己チェック項目	☐ 対面授業の開講によって、他の非対面授業が受けられなくならないよう、事前に 学生と連絡を取りました。		

実施形態	(実験、テーブルを囲んだ指導、フィールドにおける指導、等、実施形態を記載してください)
学生名簿	(学生番号・氏名を記載してください)
備 考	

教員各位

副学長（教育担当）宮下 俊也

「レベル1への移行期間」における対面授業等実施に係る留意事項について（6月15日改訂版）

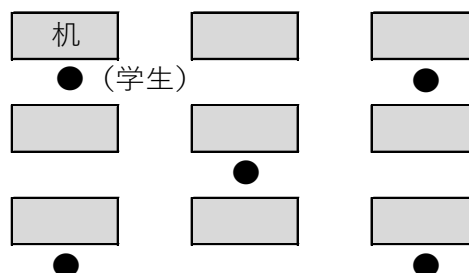
「レベル1への移行期間」における対面授業等の実施について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止・感染リスクの軽減のため、下記事項をご留意いただきますようお願いいたします。

なお、今後の状況により、この留意事項も変更される場合がありますので、大学ホームページの他、掲示板等を確認するようにしてください。

記

1. 現在帰省中の学生に対しては、授業等開始1週間前までに、通常の居住場所に移動するように指示してください。
2. 教員自身毎朝検温し、発熱、咳、全身倦怠感、嗅覚障害、味覚障害等いずれかの症状がある場合、又は教員・学生、若しくはその同居家族が感染者の濃厚接触者として特定された際には、令和2年6月9日付け「新型コロナウイルス感染症(COVID 19) 対応マニュアル（第5報）」に従い休講としてください。
3. 学生が上記理由により欠席した場合は、補講や代替措置等の配慮措置を行ってください。
4. 学生・教員とも、マスクの着用、咳エチケット、石鹸による手洗いをお願いします。
5. 「換気の悪い密閉空間」を避けるため、講義室や研究室等の換気においては2方向の窓や入口を同時に開けるなど、こまめに実施してください。空調機使用の場合も、換気は必要です。
6. 「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」を避けるため、咳エチケットやソーシャルディスタンスを意識し、学生間、教員・学生間は1～2m以上の距離を確保してください。

（座席配置例）



7. 学生に共用の教材、教具、機器や設備を使用させる場合は、適切に消毒するか、若しくは学生に使用前後に石鹸による手洗いを必ず行わせてください。
8. 密度の高い講義室等で実施する場合は、教室変更や複数教室を用いて実施することなども検討してください。
9. その他、要望等がありましたら、ご希望に沿えない場合もありますが、教務課へ一度ご相談ください。

以上